

農業政策等に関する意見書を提出



毎年、農業委員会では町に対して農業政策等に関する意見書を提出しています。
令和5年11月30日、農業委員会の中村会長、吉田農政部会長が役場2階応接室で飯田町長に意見書を提出しました。
今年度は、ロシアのウクライナ侵攻などの混乱により、原油や液化天然ガス等の化石燃料、化学肥料や原料、小麦・トウモロコシといった農業関連物資が世界的な需給逼迫状態に陥り、価格の急激な高騰に伴い経営が圧迫している状況にあるなど現状に即した農業支援と国や北海道に対しての働きかけや、本町における各種施策の推進について要請しました。
さらに議長室を訪れ寺林議長に町へ意見書を提出したことを報告しました。
町からは、令和6年1月22日に意見書に対する回答があり、1月30日開催の第7回農業委員会総会で報告されました。

◇寺林議長へ町に対して意見書を提出しことを報告

I 国等への要請事項

- 1 物価高騰対策及び輪作体系維持について
- 2 自然災害による農業被害対策について
- 3 農業基盤整備事業予算の確保について
- 4 所有権移転による農地利用集積の推進等について



II 町への農業施策の要望事項

- 1 担い手・労働力の確保について
- 2 有害鳥獣の駆除対策について
- 3 町民と食・農とのつながり(食育)の推進について
- 4 IT技術などの先進技術の導入促進について
- 5 農業委員会関係予算の確保等について

